

世界の家族

(価値観と信念)

ねらい

世界には多様な価値観が存在し、それらが習慣や社会的性別役割、家族構成、善悪の基準などの文化を形成している。何を大切に思い何を信じるかといったことは、私たちが他の人々やできごとをどう受け止めるか、他の人々が私たちをどう見るかにも影響を与える。文化とは人々のものの見方や考え方が反映されたものであり、その根底には何をたいせつに思い、何を信じるかといった価値観や信念が存在する。

ここでは、もっとも身近な「家族」を取り上げ、世界の人々の家族に対する考え方や見方を学ぶことによって、多様な見方や考え方があることを理解し、その見方考え方が生まれた歴史的社会的な背景について考えさせる。

そして、子どもたちがこの学習を通して、自分にとって価値のあるものを積極的に取り入れ、自分の生き方に生かしてほしい。

学習者の目標

知識

- 世界にはさまざまな家族に対する見方や考え方があることを知るとともに、その見方考え方が生まれた歴史的社会的背景について考える。

技能

- さまざまな人々の話や資料から、価値観の多様性について調べることができる。また、なぜそのような価値観が生まれたのか、社会背景について考えることができる。

態度

- 家族に対する多様なものの見方や考え方を受け入れ、そのなかから自分にとって価値のあるものを積極的に取り入れ、自分の生き方に生かすことができる。

対 象 小学校高学年以上

学習計画

総時間
15
時間

	内 容	時間	主 な 手 法
1	家族のかかわり合いの違い	1	3つのコーナー
2	世界の家族いろいろ	1	フォトランゲージ
3	世界の家族について調べてみよう	9	インターネット、インタ
	(1) 1の切り口で世界の家族を調べる	4	ビュー、アンケート
	(2) 調べたことを発表する	1	
	(3) 家族の様子背景についてさらに調べる	2	
	(4) 調べたことをポスターにまとめていく	2	
4	調べた結果をアピールしよう	1	ポスターセッション
5	世界中の家族から何が分ったのかな	1	ランキング
6	学んだことを発信しよう	2	

1 家族のかかわり合いの違い (4時間)

(主な手法：3つのコーナー)

1. 家族についての質問を聞いて、賛成の人は賛成のコーナーへ、反対の人は反対のコーナーへ、わからないという人は中央に集まる。(→「3つのコーナー」P65)

質問例

- 女の子も男の子も同じように扱われるべきである。
- 長男は家の跡を継いだほうがよい。
- 仕事は家族の行事より大切である。
- 父親は仕事を優先し、家事をしなくてもよい。
- 食事は家族全員でしたほうがよい。
- 親のおかずは子どものものより豪華なものがあってよい。
- 子どもは自分の寝る部屋があるべきである。
- 子どもは家の仕事をするのは当然である。
- 親は子どもの日記や手紙を読んでもよい。
- お小遣いの額は親が決めてよい。



- 質問は、次時間の世界の家族調べの切り口に発展できるよう、後継ぎ、男女の役割、家族の行事、手伝いの時間、小遣いの額、寝る部屋、食事の共有時間などがよい。

2. 自分の立場(賛成、反対)で意見を出し合い、議論しあう。議論の途中で、考えが変わったら移動してもよい。
3. 学習の感想を書く。

2 世界の家族のいろいろ (1時間)

(主な手法：フォトランゲージ)



- 教師は、調べる国の家族について文化・宗教の違い、地域性などで分け、事前に国を選択しておく。国を選択する際は、資料が豊富な国を選ぶ。

調べる国の例

- イギリス(ヨーロッパ、キリスト教)、ケニア(アフリカ)、中国(アジア、仏教)、サウジアラビア、イラン(イスラム教)、アフガニスタン(中央アジア、話題性)、韓国(儒教、日本と関係が深い)、フィジー(環太平洋)、アルゼンチン(話題性)など

1. 調べる国のグループに分かれる。

数枚の写真の中から、自分が調べたい写真同士のグループを作る。または、各自ばらばらに切られた家族の写真の1ピースを取り、そのピースを合わせて1枚の写真を完成することを通してグループを作る。

地球家族(TOTO出版)

世界各地の暮らし(ポプラ社)

イスラムの家族について……http://www3.aa.tufs.ac.jp/masato/awr_89.html

国立婦人教育会館・家庭教育データベース……<http://www2.newec.go.jp/index.html>

各国のホームページ

(以下、図書館内HPより)

続地球の家族 世界20ヶ国の女性の暮らし……

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4887061633/qid%3D1008597340/250-5835771-6753000>

総合的な学習に役に立つ世界の家族シリーズ全8巻……

http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4790230627/qid=1008601569/sr=1-1/ref=sr_1_0_1/250-5835771-6753000

変容する世界の家族……<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4888485267/qid=1008601154/sr=>



2. それぞれの国の家族の様子について写真から読み取る。(→「フォトランゲージ」P66)

①家族の写真を模造紙の中央に貼る。

②グループで1の切り口で考えたこと(教師が提示してよい)を予想したり、その他家族の様子で読み取れることを模造紙にできるだけ多く書いていく(予想したものと読み取れることは区別して整理する)。

教師の
問いかけ例

- 家族構成から後継ぎについてどんなことが考えられるだろうか?
- 父親と母親の様子から男女の役割についてどんなことが考えられるだろうか?
- 子どもの様子から家での仕事やお小遣いについて予想してみよう。
- 持ち物から食事の様子について考えてみよう。
- 持ち物から子どもの生活の様子を考えてみよう。
- 持ち物から母親や父親の役割について予想してみよう。
- 顔の表情から考えられることを出してみよう。
- 持ち物から家族が大切にしているものは何か考えてみよう。

③読み取ったことを発表する。

④学習の感想を書く。

3 世界の家族について調べよう (9時間) (主な手法: インターネット、インタビュー、アンケート)

1. それぞれの国について1の切り口である男女の役割、後継ぎの問題、食事の時間、家庭の仕事、家族の行事、子どもの手伝いや予想したことなどについて、インターネットや本、インタビュー、アンケートなどを使い調べる。(→「インターネット」P61)

2. 調べたことをグループごとに中間発表する。(1時間)

3. 調べた国の家族の様子について、社会的背景(文化的・宗教的な背景)を調べる。(2時間)

4. 調べたことをそれぞれの国の家族の特徴がわかるように雑誌や新聞の写真の切り抜きを利用して、ポスターにまとめていく。(2時間)

①わかりやすい、アピールしやすいポスターとはどんなものか全体で話し合う。

②ポスターを作成する。

③ポスターセッション*の準備、練習をする。

*「ポスターセッション」とは、各グループの成果をポスターであらわし、それを他の人に説明して、内容をアピールすること。

④説明の仕方、話し方、質問の仕方について話し合い、練習する。

4 調べた結果をアピールしよう (1時間) (主な手法: ポスターセッション)

1. 聞き手と話し手に分かれる。

①話し手は、調べた国の家族について説明しながら、ポスターの宣伝をする。

②聞き手は、ポスターを見ながら話を聞く。

③質疑応答する。

④聞き手と話し手を交代して行う。

2. 各ポスターに書かれているそれぞれの国の家族の様子で、よいところ、学びたいところ、共感できるところなどに、一人5枚程度の丸シールを貼っていく。

3. 学習の感想を書く。



5 世界中の家族から何が分ったのかな (1時間) (主な手法：ランキング)

1. 前時間のポスターを見ながら、世界の家族の中で発見したこと、学んだこと、違うこと、共通なことなどを話し合う。(家族の形態やあり方は多様なものであるから、一つの理想の家族像を追求することは避ける。)
2. 家族の中で大切なこと(大切にしていること)を考え、いくつかの項目をあげ、ランキングをして、価値観の多様性を考える。(→「ランキング」P65)

ランキング項目の例

- 一緒に夕飯を食べる。
- 門限は守る。
- 家族の行事を大切にする。
- 家の仕事をする。
- 夫婦一緒に子育てをする。

発展

このランキングを母親や父親、祖父母、近所の人、外国出身の人などさまざまな人にやってもらい、その違いを比較する。

6 家族について学んだことをさまざまな方法で発信する (2時間)

1. 学んだことを生かし家族のあり方について、様々な形で発信する。

発信例

- 家族のかかわり方についての提言
- 家族について新聞に投稿
- 名前なしの作文集
- 未来の家族への手紙を書く(子どもたちは、一人の女(男)、母(父)、妻(夫)と自分の好きな立場で書く)。

主な参考文献

人間関係を豊かにする授業実践プラン50 (小学館発行)
みんなとの人間関係を豊かにする教材55 (小学館発行)

